

JP168 粟島 (あわしま)

新潟県：岩船郡粟島浦村

| | |
|----|----------------------|
| 位置 | N 38° 27′ E 139° 13′ |
| 面積 | 986ha |

環境構成【島嶼／崖地】

粟島は、新潟県の沖合 35 km の日本海上にある、周囲 23 km の有人島である。島の中央には、標高 265.6m の小柴山があり、南北に連なる山々の東側と西側に集落がある。島の西部の丸山、立島の周辺、そこから北部に伸びる北西の崖で、オオミズナギドリが繁殖しており、その繁殖地は拡大しつつある。良好な漁場に囲まれており、漁業と観光業が盛んである。



写真：伊藤加奈

選定理由

| | |
|------------------------|----------|
| A4 ii | オオミズナギドリ |
| A4 iii | オオミズナギドリ |

保護指定

法的な担保がない、もしくはわずか（10 パーセント未満）である。

<保護指定の内容>

粟島鳥獣保護区（立島特別保護区）

<その他>

国指定天然記念物

保全への脅威

- ・ 漁業操業時の羅網が推測される。
- ・ 気候変動による餌資源の減少（近年、日本海は水温の上昇傾向が著しい。オオミズナギドリは、カタクチイワシを主な餌としているが、海水温が高温の年は繁殖成績、雛の成長速度が低いことから、長期的に繁殖地の個体群動態に影響を与える可能性がある。）
- ・ 洋上風力発電建設の可能性（村上市沖の洋上風力発電については、実施は見直されたが、今後も日本海沖に洋上風力発電建設の可能性はある。）
- ・ ノネコによる捕食（近年、新潟県獣医師会、粟島浦村、長岡技術科学大学で TNR

(避妊手術)を実施し、観察されるノネコの個体数は減少傾向にある。しかし、一方でカメラで鳥が襲われる様子が確認されたり、箱罠でノネコが捕獲される事例は後を絶たない。)

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有
- ・ IBA エリアの保全管理計画の有無：無し

保全活動

- ・ 外来種のコントロール：実施者（粟島浦村、長岡技術科学大学、新潟県獣医師会）
内容：2013年より TNR（避妊手術）活動を実施。これまで親猫の避妊去勢を行い、子猫はボランティア飼育の後、島外譲渡をしている。
- ・ 環境教育活動：実施者（長岡技術科学大学、名古屋大学）
内容：オオミズナギドリの調査でわかったことの講演会の開催（小中学校）、フィールド調査に現地の人や子供たちを招いて、オオミズナギドリの生態を紹介する活動を実施
- ・ 法律制定、政策、規制：実施者（粟島浦村）
内容：外来種の持ち込みを禁止する条例を制定し、飼育する猫の ID チップ装着、避妊去勢を義務付けている。
- ・ モニタリング調査：実施者（長岡技術科学大学、名古屋大学）
内容：オオミズナギドリのヒナの成長速度、繁殖成功率、巣立ち率、GPS を用いた親鳥の繁殖期の行動調査、胃内容物の調査を2008年より継続して実施。

IBA サイトの保全に関する地域のグループ

情報なし

見られる鳥

情報なし

* 粟島の周辺海域は、マリーン IBA (Marine Important Bird and Biodiversity Areas : 海鳥の重要生息地) に選定されています。

詳しくはこちら <http://www.wbsj.org/activity/conservation/habitat-conservation/miba/>

